

安全でおいしい水が出来るまで

詳細 水道部総務課

☎ 6628

日常生活に欠かせない水。全国トップレベルの安全でおいしい水ができるまでを、旅してみましよう

七条大滝

水源は樽前山ろく



市の水道水は樽前山ろくにはぐくまれた河川表流水を水源としており、「幌内川」「勇払川」「錦多峰川」の3河川から取水しています。これらの河川の源流は、樽前山ろくの中腹に源を持ち、本流と支流、さらに付近の随所からゆう水し、流れの集合によって清流を成しています。ゆう水は、山ろくに降った雨や雪解け水が樽前山の過去幾度かの噴火によってたい積した6m以上もの火山れき層に深く浸透し、自然ろ過されながら長い年月を経て地下を移動し、ミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)を適度に含みながら随所から

わき出ているものです。北海道大学の研究林内を流れる「幌内川」と、七条大滝など三つの滝を上流に持ち、国有林内を流れる「勇払川」は「高丘浄水場」へ、同じく国有林内を流れる「錦多峰川」は「錦多峰浄水場」へ導水されています。

この3河川は、いずれも安定した水量を保つとともに、年間を通して濁度は平均1度以下であり、環境庁による全国河川水質調査においても、幌内川や錦多峰川を含む市内の河川は、全国的にも上位のランクに入ると、水質のすばらしさを誇っています。

水道部ホームページ  
http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/su-soumu/index.htm

高丘浄水場を見てください

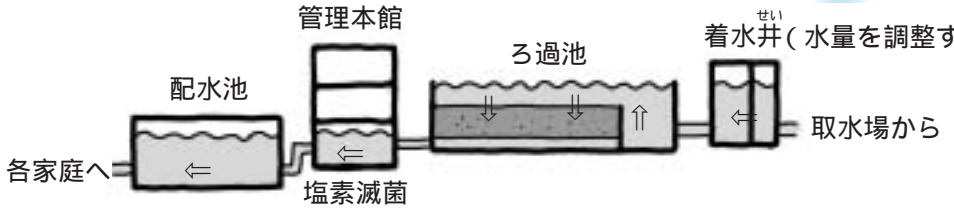
高丘浄水場は、市の中心部より北へ、国道276号から約1.5kmほど東に入った北大研究林の丘陵部に位置しています。約5haの敷地には、管理棟をはさんで北側にプールのようなる過池が6つあり、反対側の芝生の下には配水池と呼ばれる貯水槽が4つあります。浄水場では、緊急災害用水源として2カ所の地下水取水場を保有しており、万が一に備えて市民一人当たり、1日60ℓの水を確保できるようにしています。

高丘浄水場は緩速ろ過

水をきれいにするには、一般的には緩速ろ過と急速ろ過の二つの方法があり、高丘浄水場は緩速ろ過方法を採用しています。緩速ろ過とは、微生物の働きを利用したろ過方法で、細かな砂の層に1日4〜6mの緩やかな速度で水を通すと、砂の層に存在する微生物の分解作用によって浮遊物などを取り除くことができます。また、同時に細菌などを除去して、水をきれいにします。また、広大な敷地の確保と源水がきれいなことがこのろ過方法の要件です。

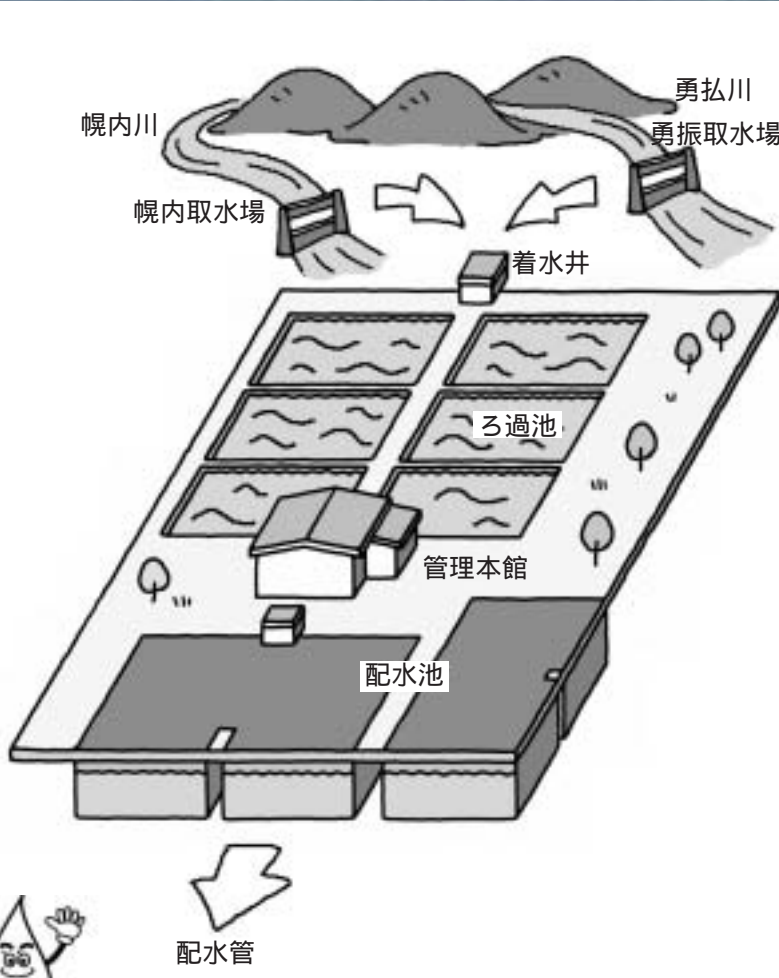
↓	↓	↓
25cm	砂利 75 ~ 25mm	
10cm	砂利 25 ~ 10mm	
15cm	砂利 10 ~ 5mm	
5cm	砂利 5 ~ 2.5mm	
75cm	砂 0.35mm	
↓	↓	↓

ろ過池断面



水の流れ

高丘浄水場全体図



幌内取水場  
日量 8,100m<sup>3</sup>の取水能力があります



勇振取水場  
日量 40,000m<sup>3</sup>の取水能力があります



管理本館  
管理室、電気室などがあり、前庭の地下には6,250m<sup>3</sup>の配水池が4池あります



ろ過池  
6つの池があり、1日平均4~6mの速さでゆっくりろ過されます



配水管を通じて各家庭へ  
おいしい水